

ボランティア・市民活動情報誌

COMVO

コンボ 12月号

2018
vol. 232

communication × voluntary



子どもたちにお寿司の握り方を伝える寿司職人
(株式会社 海翔 旬の素材レストランFujilにて)

特集

子どもの生きる力を育む 「人の心を1ミリでも動かす」

～株式会社 かいしょう 海翔の社会貢献活動～

- 3 「屋根のシート張り講習会」に100人参加
- 5 障がいのある人とその家族の防災ワークブック発行 ～わはは 輪母ネットワーク～

人の心を1ミリでも動かす

～株式会社 かいしよ海翔の社会貢献活動～



社長の白井佳之さん(左)に教わり、初めてお寿司を握る子どもたち

「海翔料理店を展開する株式会社海翔。これまでも子どもたちの元へ訪問し、お寿司を振る舞ってきました。今回は、お店に子どもたちを招待し、魚をさばくところから見てもらい、子どもたちにお寿司を握ってもらう交流会を開きました。」

**美味しいお寿司で
笑顔いっぱい！**

「こんにちは」。僕らも負けずに「こんにちはー！」大阪市中央区からやって来た23人の子どもたちの元気な挨拶に、お店のスタッフがさらに元気な声で応えます。

10月14日、大阪市内で海鮮料理店を展開する株式会社海翔が中央区で子ども食堂に集う子どもたちを招待し、その日仕入れたばかりの新鮮な魚を、子どもたちの目の前で握り、振る舞いました。

この日、子どもたちが訪れたのは天王寺区にある「旬の素材レストランFURU」。美味しいお寿司を食べてもらおうと、定休日にも関わらずアルバイトから社長まで20人以上のスタッフがボランティアで参加し子どもたちを出迎えました。

ほとんどの子どもは、目の前で握られたお寿司を食べるのは初めてです。外国にルーツを持つ子も

多く、初めは戸惑っていた様子もありましたが、スタッフの明るい笑顔や優しい気遣いで、すぐに自分の好きなお寿司を注文しはじめました。

お寿司、握ってみない？

子どもたちが笑顔でお寿司を堪能している時です。「お寿司を握

りたい人！」と、スタッフが声を掛けます。「はーい！」と元気な返事と共に手が挙がりました。熟練の板前さんに教わりながら、人生初のお寿司を握ります。真剣な顔で握ったかと思うと、失敗して笑ったり、上手くできて喜んだり、創作寿司にアレンジしたり。出来たお寿司は友だちやお店のスタッフ

フに振る舞います。その姿は、楽しく、恥ずかしさを感じながらも満足気です。

自分たちができる活動を

株式会社海翔は、

これまでも子ども支援活動をしているNPOに向いて、子どもたちにお寿司を振舞う活動をしてきました。お店の経営が軌道に乗り、何か社会貢献ができないかと考えていたとき、テレビのニュースで子どもの虐待のことを知り、子どものために何かしたいと思いました。が、寄付のよう



注文を聞いて子どもたちの目の前でお寿司を握る職人たち

な形の貢献ではなく、何か自分たちができる事をしたと考えたそうです。それが「寿司を握る」ことでした。

「僕は寿司しか握れませんが」と、専務の白井翔さん。照れ隠しで口にするその言葉の裏に強い信念を感じました。「市場の魚屋さんも新鮮な魚を寄付してくれるんですよ。子どもにとって心に残る一日になったら嬉しいですね」。穏やかな笑顔の白井さんが見つめる先には、飛び切りの笑顔でお寿司を握る子どもたちの姿。白井さんやスタッフの想いは、子どもたちに大きく届いているようでした。

人の心を1ミリでも動かす

株式会社海翔の理念は、「人の心を1ミリでも動かす」こと。しかし、ただ美味しかった、楽しかった、それだけでは人の心は動きません。「今日という日を子どもたちにとって忘れない一日にしてほしい」。子どもたちを迎える前、社長の白井佳之さんはスタッフに対してこう言いました。その言葉を実践するかのようには、年配の職人さんから若いアルバイトスタッフまで、一人残らず笑顔で子どもたちに話しかけ、同じ視線で接していました。子どもたちの笑い声が溢れ、楽しい時間を過ごせたのは、そんなスタッフの想いが伝わったからでしょう。

他のスタッフも「子どもたちの笑顔が嬉しい」と誰もが同じ言葉を口にしていました。「大切な一日にしてほしい」、そんな想いをもって接するスタッフの姿に、見守っていた大人の心は、1ミリどころか大きく動かされました。

ときどき、記者、仲西望

かいしろう

株式会社 海翔

場 所：阿倍野区旭町2-1-1マルシェ西館121

問合せ：TEL06-6630-6424 FAX06-6630-6427

*旬の素材レストランFuji

天王寺区東高津町7-11 大阪府教育会館1階



こども食堂に集う子どもたちと株式会社 海翔のスタッフ

市民で支え合い、災害に強いまちづくりを 「屋根のシート張り講習会」を開催



屋根の模型を使いながらシートの張り方を説明します

6月18日に発生した大阪府北部地震と、9月に日本列島を縦断した台風21号は、各地に大きな爪痕を残しました。とりわけ台風21号は大阪府域において、死者8人（内大阪市内3人）、重傷者7人（同市内4人）、軽症者478人（同市内166人）、住家被害として全壊約18件（同市内0件）、半壊約352件（同市内0件）、一部損壊約54,787件（同市内7,322件）（平成30年10月29日11時現在、大阪府危機管理室発表）と甚大な被害を与え、今なお屋根の補修の目的が立たずにいる住民もいます。

シート張り作業、安全を一番に

大阪府社会福祉協議会／大阪市ボランティア・市民活動センターは、10月6日に「屋根のシート張り講習会」を開催し、大阪府内で屋根の補修活動にあたるボランティアや社会福祉協議会の職員、自宅が被災し自分でシート掛けをしたという男性など約100人が参加しました。

冒頭、大阪府社協の中川利樹企画調整担当部長は「市社協や区社協には、シートを入手したものの張ることができないという相談が多く寄せられました。専門家を招いて学ぶことで、対応できるボランティアを少しでも増やせば」と講習会の趣旨を説明しました。

講師は大阪府北部地震以降、大阪府茨木市でシート張り活動を中心に支援活動をおこなう「災害要配慮者救護NPOレスキューアシスト（代表中島武志さん）」のメンバーと、それらの活動を後方支援している「震災がつなぐ全国ネットワーク（事務局長松山文紀さん）」らが務めました。まずは現役の大工の国領義数さん（そりょうよしかず）から、高所作業の注意点と梯子や脚立の正しい使い方について説明。梯子に滑車を取り付けて土嚢袋などの重荷を運ぶ方法を伝えました。続いて命を守るロープの使い方について、元消防士の武藤勝行さんが様々なタイプのザイル（登山用ロープ）を見せながら説明しました。



ザイルの使い方を説明する元消防士の武藤勝行さん(左)

災害時に支え合える 市民・ボランティアを増やす

いよいよシート張りの講習に移ります。中島さんが屋根の模型の前で瓦の上の歩き方やシートの張り方について丁寧に説明します。シートが剥がれないための工夫や固定する材料、使う道具など、参加者らは身を乗り出して耳を傾けていました。中島さんらは大阪府北部地震の支援活動中に、土嚢袋を使わず野地板^{のじいん}を使ってより安全でしっかりとシートを屋根に固定する方法「茨木方式」を考案し、この日も参加者らに披露・伝授しました。

講習会は、天理教大阪教務支庁（天王寺区）の協力で行われ、会場提供とともに同教会の災害救援チームである「災害隊」のメンバー20人も参加



シート張りに必要な工具を説明する中島武志さん(中央)

しました。

松山さんは「傷んだ屋根の下には生活している人がいます。そこを支援するのも地域福祉の役割。社会福祉協議会とNPO団体が連携して災害に強いまちにしていきたい」と話しました。

参加者は、シート張り講習会の修了者として大阪市ボランティア・市民活動センターに登録し、おおさか災害支援ネットワーク(OSN)の参加団体らと情報共有しながら、今後の支援活動に参加していく予定です。



市内外からボランティアや社会福祉協議会の職員が参加しました

参加者募集

今年もやります!! 『災害時一泊体験学習会』開催!

災害は時間や場所を選んでくれません。1泊2日の災害体験学習会を通して、個人や家族、または地域で取り組んでおくべき防災・減災について、一緒に考えてみましょう!

1泊体験にあわせて防災センターで災害の基礎知識を学び、防災まち歩きツアーを実施します。

日頃から準備として防災時を想定しながら自分たちのまちを歩いてみましょう。



備蓄食品を美味しく調理します(前回の様子)

日程 12月8日(土)午後1時30分集合~9日(日)正午頃解散(予定)

会場 集合場所/阿倍野防災センター(阿倍野区阿倍野筋3-13-23) 宿泊会場/はぎのさと別館(西成区松3-1-16)

参加費 500円 ※保険料・資料代 **定員** 20人(申込先着順) ※中学生以下は保護者の許可、小学生以下は保護者同伴

持ち物 避難所で一泊するために必要と思うものを各自ご持参ください(例えば 寝袋・防寒具・洗面用具・着替え・防災便利グッズなど) ※荷物を持つ防災まち歩きになります。

申込方法 12月3日(月)までに来所・電話・Eメールにてお申し込みください※氏名・住所・年齢・電話番号をお知らせください

申込・問合せ先 大阪市ボランティア・市民活動センター(担当:杉岡)※住所・電話・メールアドレスはP14をご参照ください

内容 防災まち歩きは、阿倍野防災センターで、防災講習(約60分間)を体験した後、上町台地界隈(阿倍野区や浪速区)を歩いてまわります。住居スペースづくり、防災カードゲーム、応急手当普及員によるAED講習会、防災食作りなど。

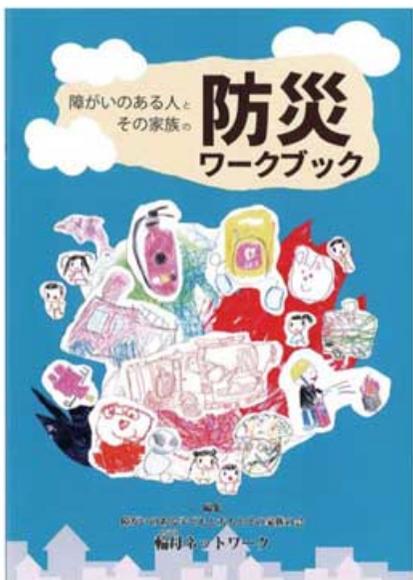
主催 市民フォーラムおおさか 大阪市ボランティア・市民活動センター 西成区社会福祉協議会

『障がいのある人とその家族の防災ワークブック』



「輪母(わはは)ネットワーク」は障がいのある子どもと大人とその家族の会として、2006(平成18)年に発足し、生野区を中心に、子育て・進路・生活に関する情報交換や悩みを話す会合やサロン、学習会などの活動を行っています。

昨年、『障がいのある人とその家族の防災ワークブック』を作成。生野区児童期子ども支援連絡会や生野区社会福祉協議会、社会福祉法人、NPO法人、企業など多くの人との関わりにより発行しました。



このワークブック作成のきっかけは、2011年の東日本大震災。多くの障がい者が亡くなったという話に、もし私たちの身近で災害が起こったらと考えるようになりまし。例えば避難所で寝ることができない、集団生活の中でパニックになる、医療的ケアが必要な子どもたち。わが子が生き延びるために、防災の取組みについて学び始めました。



切り取って、折って持ち歩く「緊急時SOSカード」を掲載



障がい者の車椅子での移動や食事の形状(流動食や経管栄養)の支援を考えるということは、足腰や食事に不自由のある高齢者や、ベビーカーや離乳食を使用する乳幼児の移動支援や食事支援にもつながり、地域住民の共通課題であることに気が付きました。

「初めはマニュアルを作るつもりでしたが、それぞれで考え活用できるように、ワークブックという形にしました。自分たちならどうするか、地域の中で障がいのある人がいたらどうしたらいいかを考えるきっかけになる本を目指しました」と代表の吉田琴美さん。

ワークブックには、避難、身を守る行動、食事、環境、医療、排泄に関すること、自分でできる備蓄品のチェックリストなど、親だからこそわかる生活の知恵が詰まっています。

「このワークブックをきっかけにして、障がいのことをみんなで考えてもらえたらいいなと思うんです。新しいアイデアを私たちにもどんどん教えてください」

吉田さんたちが願うのは、障がいのある子どもたちが当たり前になっていける社会。ワークブックに詰まった思いがたくさんの方に届くことを願って、輪母ネットワークの活動は続きます。

私たちが
作りました!



代表 吉田琴美さん(前列中央)

防災ワークブックは、1冊500円[寄付]

ご希望の方は申込みフォームから



(編集)障がいのある子どもと大人とその家族の会
わはは
輪母ネットワーク

HP <http://wahahanetwork.hatenablog.com/>
メール wahaha.net.work.info@gmail.com



地域子ども支援ネットワーク事業

「こどもの居場所づくりスタート講座」

子どもの居場所の必要性や衛生管理について学ぶ

9月25日と10月16日の両日、「こどもの居場所づくりスタート講座」を開催し、こども食堂や学習支援など、地域において子どもの居場所づくりを始めようと考えているボランティアや団体スタッフなど約90人が参加しました。

講座では、子どもの居場所の必要性や食事提供における食品の衛生管理、ボランティア活動での事故や怪我を補償するボランティア保険について、それぞれの専門家や担当者から講義がありました。その中で桃山学院大学の金澤ますみ准教授は、居場所の条件として「①安心できる場所(心理的)」「②安全である場所(身体的)」「③建物・スペースが同じ場所にあること(物理的)」「④その場所が学校や近隣住民に受け入れられていること」「⑤子ども自身がそこに「行く・居る」ことを受け入れていること」の5点をあげ、活動内容としては「食べるこ

と」「遊ぶこと」「何もしないことを否定されないこと」「広い意味での学ぶ機会が保障されていること」など、子どもにとっ

て様々な文化的な関わりが必要と続けました。

講座の終盤には、市内でこどもの居場所づくり活動に取り組むボランティア団体から、立ち上げの経緯と協力者や食材の集め方、子どもとの関わりで工夫している点などを聞き、参加者は今後の取組みのイメージを膨らませました。



それぞれの視点で子どもの居場所づくりに取り組むボランティア

食でつながるフェスタ おおさか

～こども食堂と居場所づくりから
うまれるネットワーク～

12月16日(日) 午前10時30分～午後4時

会場 <全体会・分科会>
大阪市社会福祉研修・情報センター(西成区出城2-5-20)
<分科会>
にしなり隣保館スマイルゆ〜とあい(西成区出城2-5-9 パークコート1F・2F)

●プログラム

- 10:00～ 受付開始
- 10:30～ 開会あいさつ・趣旨説明
- 10:50～ ワークショップ
- 11:05～ オープニング鼎談
「居場所としてのこども食堂～私たちの役割を問う～」
同志社大学社会学部教授 上野谷加代子さん
関西学院大学名誉教授 牧里毎治さん
桃山学院大学名誉教授 石田易司さん
- 11:45～ 休憩・移動

参加費
500円
(資料代)

12:30～ 分科会

分科会①「学校と連携したこどもの居場所」

「朝ごはんやさん」with 大阪市立西淡路小学校
「防災おにぎり」with 大阪市立鶴見橋中学校
「こどものへやしま☆ルーム」with 大阪市立南小学校

分科会②「ネットワークで支える仕組みづくり」

みんなの里0円子ども食堂
NPO法人ひらかた子ども食堂ファンクラブ
生活協同組合おおさかパルコープ
一般社団法人Child Support Organization
こども食堂ネットワーク関西

分科会③「こども食堂を応援する仕組みづくり」

社会福祉法人堺市社会福祉協議会
社会福祉法人大阪市社会福祉協議会
一般財団法人キュービーみらいたまご財団

分科会④「福祉施設におけるこどもの居場所」

社会福祉法人四恩学園(児童養護施設)
社会福祉法人東さくら園(母子生活支援施設)
社会福祉法人リベルタ(障がい者・高齢者福祉施設)

15:15～ 全体会・シンポジウム

地域みんなにとっての居場所が各地に広がり根づいていくために、参加者のみなさんとこれからの地域づくりを考えます。

16:00 閉会

スピノフ企画

【活動見学会】先着順/人数限定

- ①12/12(水) 17:00～19:30
NPO法人フェリスモンテ(大阪市/こども食堂)
- ②12/15(土) 10:00～16:00
にしなりジャガピーパーク(大阪市/遊び場)
- ③12/15(土) 10:00～15:00
ふらっとスペース金剛(富田林市/親子ひろば)
- ④12/15(土) 14:00～15:30
東さくら園(大阪市/母子生活支援施設)

主催 食でつながるフェスタおおさか実行委員会 申込受付担当/一般社団法人全国食支援活動協力会 〒158-0098 東京都世田谷区上用賀6-19-21
問合せ TEL 03-5426-2547 (祝日を除く月～金曜日 9:00～17:00)
メール infomow@mow.jp 申込み <http://www.mow.jp>より、参加申込フォームから申込みください

24区社協の担当者が活発に意見交換

ボランティアコーディネーター研修を開催

専門職としてボランティア・市民活動の本質を学ぶ

10月3日、大阪市内24区社会福祉協議会（以下、社協）のボランティアコーディネーター担当者研修を開催しました。参加したのは、ボランティア担当3年未満の初々しい職員たちです。大阪市ボランティア・市民活動センターの上野谷加代子所長が講師となり、ボランティア活動・市民活動の展望について、社協ボランティアセン



上野谷所長（前列中央）と各区のボランティアコーディネーター

ターの職員としての考え方を学んだあと、グループに分かれて事例検討を行いました。

実際の事例をもとに、「授業の二環など、主体性の低い活動者にどう働きかけたらいいのかわかるか？」「相談者が求めているものは、人との繋がりでないか？」など、活発な意見交換がなされました。

参加者からは、「悩みや業務に関することを共有できた」「専門職としてアセスメントし、本質はどこにあるのか、真のニーズは何なのかを知ることが不可欠であると改めて気付きました」といった感想が聞かれました。

それぞれの区でボランティア・市民活動を推進していくために、これからも日々頑張っていきます。



ワークショップで意見交換したり業務の悩みを共有しました

24区ボランティア・市民活動センターへの問合せ・アクセスは
24区社会福祉協議会
ホームページをご覧ください。



市民やボランティアが、NPO法人について学ぶ

「よっしゃ、作ろか。NPO法人設立講座」を開催

自身の活動を振り返り、法人化について考える

9月29日、これからNPO法人（特定非営利活動法人）の設立をめざす団体や個人を対象に、法人化に向けて準備しておくことや、法人化にともなうメリット・デメリットなどについて学ぶ講座を開催し、42人が参加しました。

「NPO法人には徹底した情報公開が求められています。設立自体は比較的簡単ですが、毎年の事業報告書の提出など、設立してから大変さが気がつくことになりま」と話すのは、講師の特定非営利活動法人きょうとNPOセンター久留宮共樹さん。法人組織の特徴や設立手続きについてなど、具体的な例を交えての話に、受講者は熱心にメモをとっていました。

「NPOは市民による自発的活動であり、市民により支えられている（支えられていく）活動。だから情報公開、透明性が肝心なのです。社会的信用を得るかどうかは、法人格の有無ではありません。自分たちの活動に法人化が合っているのかをもう一度考えてほしい」と久留宮さん。受講者からは、「自分たちのミッション、使命を最も果たすことに効率的な手段は何かを考える機会になった」といった感想が聞かれました。



近畿各地から受講者が集まり、熱心に耳を傾けました



NPO法人と他の法人格との比較

	NPO法人	株式会社	一般社団法人	一般財団法人
根拠となる法律	特定非営利活動促進法(NPO法)	会社法	一般社団法人及び一般財団法人に関する法律	一般社団法人及び一般財団法人に関する法律
該当する組織	公益的な活動を行う団体	通常の営利事業を行う会社	公益的/共益活動を行う団体	公益的/共益活動を行う団体
設立に必要な人	理事3人以上、監事1人以上、社員10人以上	1人以上	2人以上	理事3人以上、監事1人以上、評議員3人以上
設立に必要な財産・資産	規制なし	1円以上	規制なし	純資産300万円以上
成立要件	都道府県又は政令市の認証と登記	公証人による定款認証の上、登記	公証人による定款認証の上、登記	公証人による定款認証の上、登記
課税(税制)	収益事業により生じた所得に対して課税	一般の法人課税(30%所得800万円以下は22%)	収益事業により生じた所得に対して課税	収益事業により生じた所得に対して課税
法人設立登記時に必要な費用	登録免許税 無料 印紙税非課税	登録免許税15万、印紙税4万、定款認証手数料5万	定款認証手数料5万 登録免許税6万、 印鑑証明書交付手数料	定款認証手数料5万 登録免許税6万、 印鑑証明書交付手数料
報告義務(公告義務)	毎事業年度後	毎事業年度後	内部で行えばよい	内部で行えばよい

Q NPO法人って誰がやってるの？

A ボランティアだけでなく、賃金・報酬を得て専従で働く有給職員を抱えている団体もあります。また、その掲げる使命に共感して、無報酬でもかかわりたいというボランティアが、有給職員とともに活動し、団体を支えています。

Q 「非営利」なのに儲けていいの？

A 「非営利」は「活動で出た利益をメンバーで分配しない」ことであり、利益はNPOが目的とする非営利活動の財源に充てます。このことによって持続的な活動が可能になります。

もっと知りたい、相談したいという人は…

大阪市民活動総合相談窓口

あらゆる市民活動について相談できる窓口を開設しています。(平成30年度大阪市民活動総合支援事業)

大阪市ボランティア・市民活動センター(社会福祉法人大阪市社会福祉協議会)

〒543-0021 天王寺区東高津町12-10 市立社会福祉センター1階 TEL 06-6765-4041/FAX 06-6765-5618

E-mail ocvic@osakacity-vnet.or.jp <http://www.osakacity-vnet.or.jp>

〈利用時間〉 月・水・金 9:30~20:30(相談受付は20時まで)

火・木・土 9:30~17:00(相談受付は16時30分まで)

〈休館日〉 日曜・祝日・国民の休日及び年末年始

(12月29日~1月3日)

情報マーケット

Information Market

「参加してみたい!」と思ったり、
内容について聞いてみたいことがあれば、
各団体まで直接「コンボを見て」とお問い合わせください。



情報マーケット掲載団体に
問合せするのに便利なQRコード

- 1 気になる情報があれば、スマホで
下記QRコードをバーコードリーダー
で読み取る
- 2 掲載団体の情報一覧を
ダウンロード!!
- 3 問合せ先、
団体ホームページなどに
アクセスできます!



④ 知的障がいのある子どもたちへの水泳指導

大阪南YMCA

<https://www.osakaymca.jp/>

「プールって楽しい!」

マンツーマンで知的障がいのある子どもたちへ水泳指導

日 程 11/25(日)、12/16(日)、2019/1/20(日)、1/27(日)、2/17(日)、
3/3(日)、3/10(日) 午前8時30分～11時30分

場 所 大阪南YMCA6階プール(天王寺区南河堀町9-52)
JR「天王寺」駅、近鉄「阿倍野橋」駅徒歩5分

人数・条件 交通費あり 学生のみ研修費支給

申込方法 電話・Eメール

問合せ▶ TEL/06-6779-8362

Eメール fujiwara-aya@osakaymca.org (担当:藤原)

① おでかけ介助のボランティア募集

イルカグループ

http://www.facebook.com/イルカグループ-531818127273780/?modal=admin_todo_tour

障がい者、健常者に関係なく仲間と一緒に夕食を食べ、1泊し、遊びに出かけます。障がい者が世話を受けるのではなく、みんなが参加費を出して運営しています。お出かけ介助を通じて楽しい交流!

日 程 毎月第4土・日曜日

場 所 神戸三宮周辺(野外活動センターあおぞら・淡路島など)

人数・条件 交通費あり(上限500円まで) 食事あり

申込方法 電話・Eメール・ホームページ

問合せ▶ TEL/090-5651-1708

Eメール kazuhiro.kazu.1980@gmail.com (担当:吉田)

⑤ 「おやじカフェ」マスター募集

大正区社会福祉協議会

<http://taisho-fureai.or.jp/>

ハンドドリップで淹れた本格的な珈琲を提供する喫茶ボランティアグループです。現在、20～80代の15人のメンバーが仲良く活動しています。マスターは男性のみの募集ですが、裏方スタッフは男女ともOK!

日 程 平日または第3土曜日 午後1時30分～4時30分

場 所 大正区ボランティア・市民活動センター
(大正区小林西1-14-3 ふれあい福祉センター2F)
JR「大正」駅からシティバス鶴町四丁目行き「小林」徒歩5分

申込方法 電話・FAX・来所

問合せ▶ TEL/06-6555-7575 FAX/06-6555-0687

(担当:会田)

② レンタルヨット活動のお手伝いボランティア募集

一般社団法人 セーラビリティ大阪

<http://www.sailabilityosaka.jp>

障がい者でも簡単に操縦できるよう開発された艇(アクセスディンギー)を使い、全ての人にセーリングを楽しんでもらおうと活動しているグループです。貸し出しや、セーリング体験のお手伝いと、ヨットにも乗っていただけるボランティアさんを募集しています。

日 程 土・日・祝日 午前9時30分～午後4時頃
(活動期間は4月～11月末まで)

場 所 大阪北港マリナー(此花区常吉2-13-18)
シティバス「大阪駅前」停留所より「59系統 北港ヨットハーバー」行きに乗車
「西九条」停留所より「59系統 北港ヨットハーバー」行きに乗車(約25分) 下車徒歩5分

人数・条件 楽しみながら活動できる人 活動時間についてはご相談ください 土曜日参加できる人大歓迎!
※レンタルの予約が無い時はヨットに乗艇できません 保険は当方で加入します

申込方法 電話・FAX・Eメールにて ※ボランティア募集の件 とお伝えください

問合せ▶ TEL/090-3166-8993 FAX/06-6583-2889

Eメール fujimoto@kiboujuku.com (担当:藤本)

⑥ 外国にルーツをもつ日本で暮らす小学生までの親子の居場所づくりと学習支援

八幡屋親子識字日本語教室「かるがも」

毎週土曜日開催!小学生までのお子様と一緒に参加が可能なアットホームなボランティアグループです。

日 程 毎週土曜日、午前10時～正午 ※正午～ミーティングがあります。
(祝日、小学校の長期休業期間を除く)

場 所 大阪市立八幡屋小学校 3階会議室(港区八幡屋3-3-5)
地下鉄「朝潮橋」駅徒歩約10分

人数・条件 小さな子どもに絵本を読み聞かせたり、パズルなどで一緒に遊んだり、
お勉強したり、小さな子どもとお母さんの支援ができる人歓迎します。
参加要予約(資格不要)

申込方法 電話

問合せ▶ TEL/06-6539-3346

(担当:教育委員会事務局 生涯学習担当)

③ 生野会館開放するデー!見守りボランティア募集

生野地区運営委員会

<http://ikunochiku.sakura.ne.jp/>

地域の子どものための自由な居場所です。

主に小学生の見守りや、宿題支援のボランティアを募集します。大阪市公立学校・幼稚園教員採用選考テストにおけるボランティア加点点事業です。

日 程 毎週水曜日 午後3時～6時

場 所 生野会館老人憩の家(生野区生野東3-10-31)
JR「寺田町」駅 徒歩15分

申込方法 Eメール

問合せ▶ TEL/06-6731-0357

Eメール info@ikunochiku.sakura.ne.jp (担当:永松)



◀ みんなで海遊館にお出かけしました

Voice

ここでは、過去に“情報マーケット”で掲載した団体の声をご紹介します！

団体名 **地域活動支援センター フォーエバー～いつまでも～**



活動内容についておしえてください。

地域に暮らす障がい者が「自分たちの事は自分たちで決める」というコンセプトで、お出かけや食事など色々な活動を行っています。普段は、おもいおもいにパソコンでゲームなどを楽しんだり好きな事をしていきますが、行事などはみんなで意見を話し合っってより良いものにしていこうとみんなで考えています。



ボランティア活動の内容をおしえてください。

募集しているボランティアはお出かけイベントなどで、車いすを押してもらったりする移動の介助や食事・トイレの介助などです。



掲載された後、みなさんからの反響はいかがでしたか？

今のところ電話での問い合わせが何件ありましたが、残念ながらボランティア活動にはつながっていません。

⑨ 地域活動支援センターのボランティア登録募集

地域活動支援センターフォーエバー～いつまでも～ 平日

<https://www.facebook.com/地域活動支援センターforeverいつまでも-283582268652047/> 継 🚗 🍴 👤

私たちは、地域で生活する障がい者同士がメンバー自身で企画を立て数々のイベントを実行しています。その際に車いすを押すなどの介助のお手伝いして頂けるボランティアを募集します。

日 程 不定期開催(主に平日) 午前9時～午後4時

場 所 地域活動支援センターフォーエバー～いつまでも～
(東成区大今里南2-7-17)

人数・条件 数人 交通費あり(上限1,000円まで) 昼食代500円支給

申込方法 電話・FAX・Eメール

問合せ ▶ TEL/06-6975-7066 FAX/06-6975-7088
Eメール ciloh_forever_itsumademo@yahoo.co.jp (担当:掛)

⑩ 特別養護老人ホーム・編み物ボランティアさん募集!

社会福祉法人 森の宮福祉会 ハミングベル中道 平日

<http://www.humming-bell.or.jp/> 継 👤
ハミングベル中道では、ボランティアのご協力のもと、週1回編み物クラブを開催し、かぎ針や棒針編みでマフラーや座布団などの作品を作っています。利用者の編み物作品作り全般をやさしくサポートをお願いします。
(その他、施設のお手伝いいただけるボランティアも随時募集しています)

日 程 毎週金曜日 午後1時30分～2時30分

場 所 特別養護老人ホーム ハミングベル中道(東成区中道2-7-1)
JR・地下鉄「森ノ宮」駅 徒歩8分

人数・条件 1人程度 できるだけ毎週来ていただける人
*毎週は難しい方も、ご相談ください。
*介護予防ポイント事業の対象施設です。

申込方法 電話

問合せ ▶ TEL/06-6971-9788 (担当:山田・笠岡)

⑦ きょうだい保育のボランティア募集

姫島こども園 平日

http://www.suisen.or.jp/himejima_kodomoen/ 継 🚗 🍴 👤

毎週金曜日、親子通園日で、きょうだいのお子さんを別室で保育しています。

日 程 毎週金曜日午前10時～午後3時まで 時間相談可能

場 所 児童発達支援センター 姫島こども園(西淀川区姫島6-3-33)
阪神「福」駅 徒歩10分 シティバス43系統「西淀中学校前」

人数・条件 3人程度 子育て経験ある人(保育士資格者歓迎)
交通費あり(上限500円まで) 食事あり(5時間以上給食あり)

申込方法 電話

問合せ ▶ TEL/06-6472-6001 (担当:立石)

⑪ 第20回 母と子のコンサート

21世紀(みらい)を担う子供たちと共に成長するママの会 with CHILDREN 土日祝

子育て支援の会ウィズは来年5/3で20周年。毎年開催の母と子のコンサートは一足先に第20回を迎えます。子どもたちと共にピアノ演奏、専門家の歌、ウィズと踊り読み聞かせ、サンタのプレゼント、楽しんでね!

日 程 12/9(日)午後1時～3時

場 所 ランズ・ホール(住吉区我孫子東2-5-2ランズあびこ1F)
地下鉄「あびこ」駅1番出口 徒歩2分

人数・条件 定員:100人 参加費:1家族につき100円

申込方法 申込不要

問合せ ▶ TEL06-6699-9506 (担当:能裕)

⑧ 訪日外国人ボランティアガイド募集

関西伝統工芸品ボランティアガイド協会(SGG関西) 平日 土日祝

<https://kadeko.jimdo.com> 継 👤
私たちは、ガイドを通じて世界中に沢山の親しい友人を作りたいと考えています。大阪市内で楽しくガイドをしてみませんか?

日 程 依頼人のリクエストに合わせてガイドを行います
(平日・土日祝 午前10時～午後5時の時間帯で)
※応募者のご都合に合わせて活動可能です

場 所 大阪市内全域(一部他府県も含む)

人数・条件 募集人数:20人 18歳以上の男女 国籍不問
参加費用:入会金(1,000円)・年会費(3,000円)
外国語で日常会話ができる人(資格等は不問)
※スペイン語・イタリア語・フランス語できる人、大歓迎!

申込方法 Eメールにて ※後日 面接を行い参加決定します

問合せ ▶ TEL/090-8208-8356
Eメール traditional2010@icloud.com (担当:中野)

⑩絵本をたのしもう

ふらっとフラットまちライブラリー@OCVAC

絵本の感想、いいところ、話したいところ、楽しいところ、思い出など絵本について話す会です。絵本セラピストさんに来ていただいて、絵本の楽しみ方のお話もあります。ふるってご参加ください。

日 程 11/24(土) 午後1時30分～3時

場 所 大阪市ボランティア・市民活動センター会議スペース(天王寺区東高津町12-10)

人数・条件 定員:15人 参加費:400円(お茶・茶菓子・文具代として)
当日は1冊本を持参。ご持参いただいた本の紹介時間があります。
ご持参いただいた本は、まちライブラリーへの寄贈をお願いしておりますが、寄贈が難しい場合は、ご遠慮なくお申し出ください。

申込方法 電話・FAX

問合せ▶ TEL/06-6765-4041 FAX/06-6765-5618
(担当:大阪市ボランティア・市民活動センター)

⑪英語、中国語を楽しむ読み聞かせ会

関西国際交流団体協議会

http://www.interpeople.or.jp

幼児の脳は未熟で、神経回路が沢山繋がっていて、外国語の読み聞かせはその回路を刺激し、将来外国語の習得に良い影響を与えると考えています。お子様と一緒に、外国語絵本を楽しむながら、異文化を体験しませんか?

日 程 第4回:12/8(土)英語
第5回:2019/2/16(土)中国語
第6回:2019/2/23(土)英語
午前10時30分～11時30分

場 所 阿倍野区民センター(阿倍野区阿倍野筋4-19-118)

人数・条件 参加費:無料 定員:20人

申込方法 電話・FAX・Eメール

問合せ▶ TEL・FAX/06-6222-1192
Eメール kna@pianpo.com (担当:岡田)

⑫食育講座「キレル子ども」をつくらない ～親子で学ぶ、心を育てる食育活動～

一般社団法人健康栄養支援センター

http://hns-japan.com

「キレル」「かんしゃく」など情緒不安定な子どもの心の荒れは深刻です。大きな要因のひとつとして子どもの食生活の乱れが懸念されています。この食育講座は、豊かな心を育む大切な食事を親子で学べる機会です。

日 程 12/15(土) 午前10時～午後2時

場 所 健康栄養支援センター(鶴見区放出東3-14-12)
JR[放出]駅徒歩5分

人数・条件 4歳～小学3年生の親子ペア8組
参加費:親子ペア500円(材料費の一部のみ)
調理実習がありますので、昼食あり。

申込方法 ホームページ 締切:12/12(水)

問合せ▶ TEL/050-3570-2468 (担当:池上)

⑬第16回 みなとこころの講座 「感じてみませんか?発達障がいの世界」

港区福祉協議会ひまわり 港区ボランティア・市民活動センター

http://minatoku-shakyo.com/

ひと口に発達障がいと言っても、その特性、表れ方は様々です。そこには、私たちの知らない独特の感性や、素敵な世界があるかもしれません。見て、聞いて、感じて、「知り♡添って」みませんか? 講師:笹森理絵さん・音楽:高橋紗都さん。

日 程 12/1(土) 午後2時～4時30分(受付1時30分～)

場 所 ゆめホーム「ゆめ」かなえる 港区民センター ホール(港区弁天2-1-5)
JR・地下鉄「弁天町」駅徒歩7分

人数・条件 定員:150人 当日先着順 参加費:無料

申込方法 申込不要

問合せ▶ TEL/06-6575-1212 FAX/06-6575-1025
Eメール himawari@minatoku-shakyo.com (担当:田中)

⑭おしゃべりカフェ

NPO法人 kunこころの宮

http://www.kun-kokoronomiya.org

いろんな事話したい、聞いてみたい、子どものこと、仕事のこと。何故だかモヤモヤしている誰もが集えるコミュニケーションの場。みんなでワイワイお話ししましょう!

日 程 毎月第4土曜日
女性専用時間 午後1時から2時30分
男女参加時間 午後2時30分から4時

場 所 新谷町第一ビル306(中央区谷町7-2-2)
地下鉄「谷町六丁目」駅4番出口 徒歩5分

人数・条件 参加費:500円

申込方法 電話・Eメール

問合せ▶ TEL/090-3619-2312
Eメール info@kun-kokoronomiya.org (担当:長原)

⑮2019年4月開講「シニア自然大学校」受講生募集

認定NPO法人 シニア自然大学校

http://www.sizen-daigaku.com

「自然に親しむ講座」を開講! 仲間と共に自然を楽しむ、新たな体験!

日 程 《1年間コース》月4回(午前10時～午後3時) 火・木・金曜日の3クラス
《2年間コース》月2回(午前10時～午後3時) 土曜日の1クラス

場 所 NS21ビル8F会議室(中央区谷町3-1-18)地下鉄「谷町四丁目」駅A1出口徒歩5分
*近畿圏の観察場所(植物園・森林公園・里山・里海など)

人数・条件 《1年間コース》 定員:各クラス48人 年間受講料:73,000円 入学金:5,000円
*分割払い 可
《2年間コース》 定員:48人 年間受講料:40,000円 入学金:5,000円
*体験講座・受講説明会あります。*各コース 夫婦割引 あり

申込方法 郵便・FAX・Eメール・HP *11/5(月)～定員先着順締切

問合せ▶ TEL/06-6937-8077 FAX/06-6937-8078 受付時間(平日10:00～16:00)
Eメール jukou@sizen-daigaku.com (担当:シニア大学校事務局)

⑯子どもが輝く居場所づくり 講演会&グループワーク

特定非営利活動法人ハートフレンド

http://heart-fd.jp/

生まれ育った環境によって子どもの未来が閉ざされることがあってはなりません。私たちが、今できることを考えてみませんか?

講演会「子どもが輝く居場所づくり」新崎国広氏(大阪教育大学教授)

日 程 12/8(土) 午後1時～3時(開場:午後12時30分)

場 所 大阪市立早川福祉会館(東住吉区南田辺1-9-28)
JR「南田辺」駅徒歩15分 地下鉄「西田辺」・「駒川中野」駅徒歩15分
シティバス「東住吉区役所前」

人数・条件 子育て支援・親子支援に関心のある人(先着60人)
参加費:無料 締切:11/20(火)

申込方法 電話・FAX・Eメール

問合せ▶ TEL・FAX/06-6719-6055
Eメール info@heart-fd.jp (担当:徳谷)

⑰人形劇「河の童～かわのわっぱ～」

デフ・パペットシアター・ひとみを観る会

https://kappa20181210.wixsite.com/deaf

ろう者と聴者が共に活動する世界で唯一のプロ人形劇団による、新作公演! 「河童」と人間たちとの関係を描いた優しく切ない物語。唯一無二の視覚的表現により障がいの有無、国籍、年齢関係なく一緒に楽しめます。

日 程 12/10(月) 午後6時～7時20分

場 所 東住吉区民ホール(東住吉区東田辺1-13-4)
地下鉄「駒川中野」駅徒歩10分

人数・条件 参加費:大人2,000円小人1,000円 締切:12/7(金)

申込方法 電話・FAX・Eメール

問合せ▶ TEL/090-1152-3529 FAX/06-6702-3529
Eメール kappa20181210@gmail.com (担当:吉村)

23「ひらの青春ローカルティ3」～ジモトで学ぶ、働く、愛する～

平日
<http://www.city.osaka.lg.jp/hirano/page/0000445126.html>
 平野区の高校生支援現場の声をお届けします。地域に若者が根付くことを「ローカルティ」という言葉に込め、次世代を担う子どもたちの社会生活についてみなさんとともに考えます。
日 程 12/7(金)午後2時～4時30分
場 所 クレオ大阪南 ホール(平野区喜連西6-2-33) 地下鉄「喜連瓜破」駅1番出口 徒歩5分
人数・条件 参加費:無料
申込方法 FAX・専用フォーム(名前・連絡先・メールアドレス記入)
問合せ▶ FAX/06-4302-9943 専用フォーム(<https://bit.ly/2x6l3bw>) (担当:塩川)

20 ママカフェ～子連れで働くを考えてみよう～

平日
<http://www.mamahata.net/>
 ママになってから独身時代に働いていたころのことをよく思い出しませんか? そのころのことを少し語りながら、子連れで働くことを一緒に考えてみませんか?合わせて赤ちゃん先生説明会開催します! ※別日程も調整可
日 程 12/3(月) 午前10時～12時
場 所 JR「桃谷」駅周辺(詳細はご予約時にお伝えします)
人数・条件 参加費:無料 子連れOK
申込方法 Eメール
問合せ▶ Eメール osaka-chuo@mamahata.net (担当:三宅)

24 2018年度近畿ろうきんNPOアワード

近畿労働金庫 地域共生推進室
<https://www.rokin.or.jp/>
 子どもや子育てを取り巻く環境が厳しくなる中で、社会的課題として「子育て」への関心が高まっています。「未来に活かす」多彩なプログラムの応募をお待ちしております。
助成対象事業 2019/4/1～2020/3/31に、日本国内で実施する新規プログラム(前年度からの継続事業でも可)で、以下のいずれかの子育て支援事業。
 ①子どもの成長を応援する事業 ②子育て環境を整える事業
応募要件 近畿2府4県に主たる事務所を置き、非営利の市民活動・ボランティア活動を行うNPO法人と一般社団法人(非営利型)、法人格のない任意団体
助成額 2018/4～2019/3までの期間中の教育ローン新規融資額の0.05%(最大250万円)を助成します。
応募方法 HPから申請書をダウンロードして必要事項を記入のうえ、提出書類を添付して郵送
応募期間 2018/12/1(土)～2019/1/31(木)必着
問合せ▶ 〒550-8538 西区江戸堀 1-12-1 TEL/06-6449-0842 FAX/06-6449-1414(担当:中須・岩崎)

21 第84回点訳ボランティア養成講座

一般社団法人 大阪市視覚障害者福祉協会
<http://www.daishikyoo.org/>
 視覚障がい者のために、点字を初歩から学んでいただき、講座終了後に点字図書を作成するなど、点訳を提供するボランティアを養成していきます。
日 程 2019/1/9(水)～3/13(水)午後1時～4時 全10講座(毎週水曜日)
場 所 大阪市立社会福祉センター 会議室 近鉄「大阪上本町」駅 地下鉄「谷町九丁目」駅
人数・条件 定員:30人(応募多数は抽選) この講座は晴眼者が対象です。参加費:無料(テキスト、点字板あり) 締切:12/21(金)必着
申込方法 往復はがき・FAX・Eメール(住所・氏名ふりがな・年齢・電話番号明記)
問合せ▶ 〒543-0021天王寺区東高津町12-10 大阪市立社会福祉センター2F TEL/06-6765-5600 FAX/06-6765-2554 Eメール daishikyoo-shomu@wine.ocn.ne.jp (担当:西林)

25「全日本社会貢献団体機構」社会貢献活動支援のための助成

全日本社会貢献団体機構
<http://www.ajosc.org/subsidy/index.html>
 全日本遊技事業協同組合連合会の社会貢献基金や寄付金などを主な財源として、2019年は、下記の2分野において助成します。
助成対象 1.子どもの健全育成支援事業 少子高齢化が進む中、21世紀の社会が活力のある豊かな社会となる事を目的に、次代を担う子どもたちがたくましく健やかに成長することを願う。
 2.災害復興コミュニティ支援事業 東日本大震災、熊本地震や、九州北部豪雨などによる大規模災害被災地で、安定した生活を取り戻すことを願う。
助成金総額 1件上限250万円
申請方法 12/14(金) 午後5時必着
提出書類 HPから申請書をダウンロードし、必要事項を明記のうえ提出書類を添えて原本を郵送し、同時に申請データをメールにて送付 メールアドレス: josei-jigyoo@ajosc.org
問合せ▶ TEL/03-5227-1047 FAX/03-5227-1049 (担当:毛利)

22 傾聴ボランティア養成講座

大阪市立阿倍野区老人福祉センター
 始めませんか心によりそうボランティア、講義やロールプレイ、オリエンテーション等
日 程 11/30(金)、12/7(金)、12/14(金)、12/21(金) 午前10時～正午
場 所 阿倍野区社会福祉協議会(阿倍野区帝塚山1-3-8) 阪堺電車上町線「姫松」駅 徒歩2分
人数・条件 定員:20人(先着順) 対象:市内在住で60歳以上の人で4回とも出席できる人、傾聴ボランティアに関心のある方、区内で活動できる人 参加費:無料 締切:11/29(木)
申込方法 電話・来所
問合せ▶ TEL/06-6623-8052 (担当:福西)

情報求む!

ボランティアの募集情報や、ボランティア・市民活動に関するイベント・セミナーの告知情報を常時、お待ちしております。どしどしお寄せください。

申し込み方法 専用フォームから情報をお寄せください。
<https://ws.formzu.net/fgen/S35245908/>

申込先・問合せ先 大阪市ボランティア・市民活動センター ボランティア・市民活動情報誌「COMVO」編集室
 天王寺区東高津町12-10 TEL/06-6765-4041 FAX/06-6765-5618 Eメール ocvic@osakacity-vnet.or.jp (担当:濱辺・杉岡・縄)
 ※本誌の発行日は8月と1月を除く毎月15日です。募集締切は掲載希望号発行月の前々月末日とします。
 (例:平成31年2月15日発行号(3月号)に掲載希望の場合は12月未まで)



おんはっけん

おことわり

※受付・掲載有無について、編集室からはご連絡しません。※申し込み＝掲載確定ではありません。誌面に限りもあり、ご希望に添えない場合があります。※掲載された場合は、編集室から問い合わせや申し込み状況などの反響についてお尋ねする場合があります。

～海外から日本へ～

大阪の高校に学ぶ 若者たち Vol.26

season 3

プロフィール

益子 仁貞(ますこ じよな)
ルーツ:韓国
学 年:高校2年生
好きなこと:
温かい布団の中で猫と一緒に
寝ること



海外から来日、帰国して学ぶ高校生。
複眼的な視野をもつ彼らが毎号1人ずつ登場します。
(協力: NPO法人 おおさかこども多文化センター)

こんにちは私の名前はジヨナです。私は韓国で
中学校を卒業してから、日本の高校に入学しました。
中学校ではアーチェリー大会の補助スタッフ、子ども
の日のイベントスタッフなどいろいろなボラン
ティアに参加していました。今年の夏には大阪メ
トロ開催の地下鉄通訳ボランティアに参加しました。
今までいろいろなボランティアに参加してきま
したが、私が持っている言語能力を生かす事ができ、やり
がいがあると思えたのは初めてでした。

私の父は韓国人で母は日本人です。それで小さい

時から2つの言語に触れながら育ちました。これま
でも日本に来てから、電車を利用してある時に韓国か
ら来た観光客によく目的地までの案内のお手伝い
をしました。

今回このボランティアに参加することで韓国
の方だけではなく、世界中からいらした観光客の皆
様にたくさん役立つことができ、うれしかったです。
また、久しぶりに韓国語で話すことができ、新しい韓
国人の友だちと出会うことが出来て、とてもうれ
しかったです。



子どもたちの表情を見ながらページをめくるボランティア

や紙芝居
の読み聞か
せをする
ボランティア
アグループ
で、図書館
や保育園、
高齢者施
設など月
に約10か
所を訪れ
ています。

代表の荒井佳子さんは、学生時代から
の本好きが興じて、『絵本の読み聞かせボ
ランティアスクール』を受講後、グループに
参加しました。活動を長く続けている
と、赤ちゃんの時に会った親子に声をか
けられるなど、子どもたちの成長を近く
で見守る喜びを感じています。

読みきかせボランティア募集中
アクビス「おはなしのへや」
問合せ
住之江区ボランティアビューロー
06-6686-2234

「ぴよん」と、大型絵本のページをめく
るたび、笑顔がはじける子どもたち。絵
本の動物がぴよんと跳ねるタイミングに
合わせて、「ママにたかいたかいてもら
えることが嬉しくてみんなご機嫌です。
これは、住之江図書館で、アクビス「お
はなしのへや」が月1回開催する「赤ちゃん
の部屋」の様子。毎回就学前の親子が20
組ほど集まります。アクビスは、乳幼児か
ら高齢者まで幅広い年代を対象に絵本

前身は、ATCエイレスセンターでの
喫茶ボランティアで、2002(平成14)
年に住之江区社会福祉協議会に拠点を
移した時に、絵本の読み聞かせ活動をス
タートしました。

ボラ基金助成団体へ突撃取材 本が大好き！おはなしボランティア アクビス「おはなしのへや」

平成29年度大阪市ボランティア活動振興基金を助成した団体を紹介します。
ボランティア活動促進事業



代表の荒井佳子さん

COMVOではよりよい誌面づくりのため、読者の皆さんに毎回アンケートのご協力をお願いしています。あなたのご意見や感想をお聞かせください。

応募方法

- ①あなたの氏名、郵便番号、住所、性別、職業、年齢、電話番号、本誌入手先、読者歴をお書きください。
- ②下記の1～6の質問の回答をお書きください。

1. あなたのボランティア活動歴を教えてください。
ア なし イ 1年未満 ウ 1～4年 エ 5～9年 オ 10年以上
2. あると答えた人は活動内容を覚えている範囲で教えてください。
3. これまでに情報誌 COMVO を見て、ボランティア活動をしたことはありますか。
ア ある イ なし ウ まだ迷っている(その理由も教えてください)
4. 今月号で良かった記事は何ページですか? その理由も教えてください。
5. 本誌で取り上げてほしいテーマや活動、団体、行事、イベントなどがあれば教えてください。
6. その他、ご意見、ご感想を記入ください。

①、②の必要事項をFAXかハガキに記入のうえ、当センターまでお送りください。

※パソコン・スマホからも回答できます。

<https://ws.formzu.net/dist/S38892286/>



(宛先)

大阪市ボランティア・市民活動センター
「読者アンケート 情報誌COMVO232号係」まで

(住所は下記参照)

※締め切り 2018年12月10日(消印有効)

※当選者の発表は記念品の発送をもってかえさせていただきます。

※お預かりした個人情報、本誌の内容向上と、記念品送付の目的のみに使用します。また、募集したテーマについてご意見を誌面に掲載する場合がありますが、個人を特定される記載は行いません。



子どもたちにもものづくりの楽しさを

当金庫姫島支店は、8月19日に西淀川区役所などで行われた「西淀川ものづくりまつり2018」に初めて協賛・参加しました。



「オリジナルバッジコーナー」の様子

この催しは、子どもたちに区内の「ものづくり企業」を知ってもらい、「ものづくり」の楽しさを伝えるために開催しているもので、当金庫のお取引先企業を含む地元企業20社が出展されました。

姫島支店は、その場で撮影したお客さまの写真を缶バッジに加工して、無料で提供する「オリジナルバッジコーナー」を出展しました。全体の来場者は千人を超え、当コーナーも子ども連れのご家族や子どもたちで賑わい、準備した300個のバッジが全なくなる盛況ぶり、地元の皆さまにたいへん喜んでいただきました。

ボランティア・市民活動情報誌
「COMVO」へ広告募集!

赤枠が
本文 1/5 ページ
サイズと同じです

「普段着のわたし、ステキにいいこと」をコンセプトにしたボランティア・市民活動情報誌COMVO。

大阪のボランティア・市民活動情報が満載!市民が誰でも気軽に手に入れることができるフリーペーパーに貴社の広告を掲載しませんか。

- 体裁・発行・部数
B5判 16頁(フルカラー)年10回発行
- 広告申し込み締切
発行日の2ヶ月前(スペースに限りがありますので、お早めに申込ください)
- 申込方法
下記まで問合せください



広告料金(税込)

掲載箇所 スペース	料金(税込)	版下サイズ(mm)	
		幅	高さ
表4 1ページ	234,000円	240	170
表4 1/2ページ	127,500円	117	170
本文 1ページ	156,000円	257	182
本文 1/2ページ	85,000円	117	170
本文 1/5ページ	38,000円	48	162

※原稿は原寸大の完全原稿(ポジ・MOデータ)で入稿ください。それ以外は別途製版料が必要です。

※掲載ページの指定はできません。

※内容により掲載をお断りする場合があります。

企画・発行

社会福祉法人 大阪市社会福祉協議会 ふれあいネットワーク

大阪市ボランティア・市民活動センター

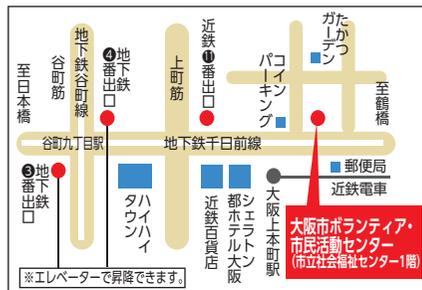
Osaka City Voluntary Action Center

所在地 / 〒543-0021大阪市天王寺区東高津町12-10大阪市立社会福祉センター1F

TEL/ 06-6765-4041 FAX/ 06-6765-5618

E-mail/ocvic@osakacity-vnet.or.jp http://www.osakacity-vnet.or.jp

- 開館時間:午前9時30分～午後8時30分(月・水・金) 午前9時30分～午後5時(火・木・土)
- 休館日:日・祝・国民の休日・年末年始
- 発行日:2018年11月15日(8月と1月を除く毎月15日発行)
- 発行部数:40,000部 ●制作協力:商工印刷株式会社 ●点訳協力:NPO法人ぼこ・あ・ぼこ
- 本誌は大阪府共同募金会の助成をいただいています



「COMVO」主な設置・配布場所 ウェブサイトからもチェック可能! <http://comvo.lekumo.biz>

Osaka Metro(オオサカメトロ)(新大阪・淀屋橋・本町・なんば・天王寺・なかもず・大日・太子橋今市・天神橋筋六丁目・東梅田・天満橋・谷町九丁目・喜連瓜破・住之江公園・大阪港・堺筋本町・野田阪神・日本橋・天下茶屋・大正・蒲生四丁目・ポートタウン東 各駅)、阪神電車(梅田駅)、大阪市サービスカウンター(梅田・難波・天王寺)、各区在宅サービスセンター(区社協)、大阪市役所・区役所、区民センター、クレオ大阪、大阪市内の図書館、大阪市立総合生涯学習センター・市民学習センター各館、大阪市商店会総連盟加盟商店街、大阪シティ信用金庫府内の店舗など

●スタッフブログ <http://ocvic.blogspot.jp> ●twitter <http://twitter.com/ocvic1998> ●Facebookページ <https://www.facebook.com/ocvic>

森と人間、 どちらも元気にする方法が 見つかった。

インドネシア熱帯雨林再生プロジェクト。地元住民が生活のために伐採した森林の再生のためには、まず彼らの暮らしを支える経済貢献が必要でした。また、植林が進んだ後は、再生した森がまた伐採されないよう、地元小学校への啓発と支援も進めました。木を植える、そのシンプルな環境貢献のために一番必要になったのは、地元で暮らす人々との対話でした。森がよみがえり、人に笑顔が戻る。私たちの環境問題への取り組みは「対話」からはじまります。



インドネシア・リヤン第二小学校

対話するエコ。

立ちどまらない保険。

MS&AD 三井住友海上

24区ボランティア・市民活動センター/ボランティアビューロー一覧

ボランティア活動に関するご相談をお気軽にお寄せください。

名称	所在地	電話(06)	FAX(06)
北区ボランティア・市民活動センター	北区神山町15-11 いきいきネット	6313-5566	6313-2921
都島区ボランティア・市民活動センター	都島区都島本通3-12-31 ふれあいセンター都島	6929-9500	6929-9504
福島区ボランティア・市民活動センター	福島区海老江6-2-22 あいあいセンター	6454-4553	6454-6331
此花区ボランティア・市民活動センター	此花区伝法3-2-27 此花ふれあいセンター	6462-1224	6462-1984
中央区ボランティア・市民活動センター	中央区上本町西2-5-25 ふれあいセンターもも	6763-8139	6763-8151
西区ボランティア・市民活動センター	西区新町4-5-14 にしながほり	6539-8075	6539-8073
港区ボランティア・市民活動センター	港区弁天2-15-1 ひまわり	6575-1212	6575-1025
大正区ボランティア・市民活動センター	大正区小林西1-14-3 大正区ふれあい福祉センター	6555-7575	6555-0687
天王寺区ボランティア・市民活動センター	天王寺区六万体町5-26 ゆうあい	6774-3377	6774-3399
浪速区ボランティア・市民活動センター	浪速区難波中3-8-8 浪速区在宅サービスセンター	6636-6027	6636-6028
西淀川区ボランティア・市民活動センター	西淀川区千舟2-7-7 ふくふく	6478-2941	6478-2945
淀川区ボランティア・市民活動センター	淀川区三国本町2-14-3 やすらぎ	6394-2900	6394-2978
東淀川区ボランティア・市民活動センター	東淀川区菅原4-4-37 ほほえみ	6370-1630	6370-7330
東成区ボランティア・市民活動センター	東成区大今里南3-11-2 ひがしなり	6977-6336	6977-6339
生野区ボランティア・市民活動センター	生野区勝山北3-13-20 おかちやま	6712-3101	6712-3001
旭区ボランティア・市民活動センター	旭区高殿6-16-1 あさひあったかセンター	6957-2200	6957-7282
城東区ボランティア・市民活動センター	城東区中央2-11-16 ゆうゆう	6936-1153	6936-1154
鶴見区ボランティアビューロー	鶴見区諸口5-浜6-12 鶴見区在宅サービスセンター	6913-7070	6913-7676
あべのボランティア活動センター	阿倍野区帝塚山1-3-8 阿倍野区在宅サービスセンター	6628-3434	6628-9393
住之江区ボランティアビューロー	住之江区御崎4-6-10 さざなみ	6686-2234	6686-0400
住吉区ボランティア・市民活動センター	住吉区浅香1-8-47 いきいき	6607-8181	6692-8813
東住吉区ボランティア・市民活動センター	東住吉区田辺2-10-18 さわやかセンター	6628-2020	6622-8973
平野区ボランティア・市民活動センター	平野区平野東2-1-30 にこにこセンター	6795-2200	6795-2929
西成区ボランティア・市民活動センター	西成区岸里1-5-20 はぎのさと	6656-0080	6656-0083